

## < 白金標準、FRB と ECB の景気抑制を織り込み反転待ち・・・ >



(出所：オアシス)

ウォラーFRB 理事が「経済を減速させた」と発言、個人消費・支出でも支出が低下し、消費の減少を示唆している。また欧州でもドイツ消費者物価指数、ユーロ圏消費者物価指数が揃って低下を示すなど、ゴールドマンサックスはECBは来年第3四半期の利下げ予想を第2四半期へ前倒ししている。また中国では製造業PMIが2ヵ月連続で好不景気の分岐点である50を下回るなど、中国景気に対する懸念を払拭する事ができていない。特に週末のISM製造業景気指数でも13ヵ月連続で50を下回り続けており、景気に対する懸念が景気商品であるNY白金を950ドルで抑えられた値動きを見せている。特にFRBの金融政策の転換の憶測が強まり、為替市場では円高・ドル安が進むなど円建て価格の白金標準先物は4400円で高値が抑えられた値動きを見せている。しかしFRBとECBの舵取りでリセッション入りは回避される可能性が高く、また中国の恒大集団の事業継続を問う、清算申し立て審理が4日に行われ、ポジティブな結果になる様であれば中国のリスク緩和で巻き戻しの動きを強めて白金標準先物は4400円を超える展開へ移行すると思える。

### <テクニカル>

白金標準先物の日足をMACDとRCIで見た場合は、MACDではMACDは維持しながらシグナルは切り上げている。RCIでは短期が下げながら、長期は切り上げている。特に40日移動平均線や200日移動平均線が4300円で維持しており、下げ渋る値動きに思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行ってください。売買の判断はお客様御自身で行ってください。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 2,360,000 円(2023 年 12 月 4 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 73,920 円(2023 年 12 月 4 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当日本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)

証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター  
<https://www.nisshokyo.or.jp>